

単位数	2	学科(型) 学年	建設工学科(建築型) 2年	教科書 副教材等	建築計画(実教出版)
学習目標		建築計画に関する基礎的な知識と技術を習得し、豊かな建築空間を合理的に計画・設計できる能力と態度を身に付ける。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	建築と環境の概要 屋外環境と室内環境 換気と通風 伝熱と結露			<ul style="list-style-type: none"> 建築物を取り巻く環境の要素と建築物の内部を快適にする方法について理解する。 日本の気候や自然条件などが、人々の生活や建築物に与える影響を理解する。 建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素について学習する。 	
2	日照と日射 採光と照明 色彩			<ul style="list-style-type: none"> 日照、日射が建築物に与える影響について学習する。 採光と人工光源による照明について学習する。 基本知識である色の表し方や色彩と心理について正しく理解する。 	
3	音響 住宅の計画			<ul style="list-style-type: none"> 音の基本事項、建築材料の遮音性と吸音性について理解する。 住宅の役割等を正しく把握し、その構成や性能などについて学習する。 	
価の観点		内 容			
知識・技術		<ul style="list-style-type: none"> 建築計画を合理的かつ適切なものにするため、その根拠となるデータや数値を算出する方法等を身に付けている。また設計者として望ましい心構えや態度を身に付けるとともに、建築計画の意義や役割を理解している。 			
思考・判断・表現		<ul style="list-style-type: none"> 建築計画にかかわる基礎的・基本的な知識・技術を活用して思考・判断し、表現できる能力を身に付けている。 			
主体的に学習に取り組む態度		<ul style="list-style-type: none"> 建築計画に興味・関心をもち、その目的や意義をはじめ、建築物の作り出される過程とのかかわりなどを理解するため、意欲的に取り組んでいる。かいつためを合理的かつ適切なものにするため、その根拠となるデータや数値を算出する方法等を身に付けている。 			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習態度、学習意欲を評価する。 年間5回の定期考査の結果をもとに理解度、定着度を評価する。 演習でのデザインやアイデアを評価する。 				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○高校生らしいアイデアを創造するために、完成見学会等に積極的に参加しよう。 ○テレビの住宅探訪、リフォーム番組等を見て参考にし、基礎知識の習得に努めましょう。 ○自分の考案したアイデアをデザイン帳などにメモして保存しましょう。					